

## 情報活用能力の育成

### I 研究の内容

教育活動において、「社会の情報化」という時代の動きを無視することはできない。それは、情報機器が人と人との情報伝達をより活発にするという方向に拡大しているからだ。教育は、子どもたちへ知識や技能、考え方などの能力を教え育む活動だ。だから、教育にとって効果的な情報機器の利用は自然の流れとなる。ICTを活用することにより子どもたちの学習に対する意欲や興味・関心を高め、思考力や判断力、表現力を高める教育活動の実現が求められている。

本部会では上記テーマを設定し、児童の情報活用能力の育成と教員の指導力向上を目指し研究を進めた。

### 1 研究の方法

- (1) 部会のテーマ「情報活用能力を高める研究」に沿った授業実践について研究し、研究協議を行う。
- (2) 情報機器に対するスキルを高める。
- (3) 部会員の情報活用能力を高めるための研修を行う。

### 2 研究の具体的内容

#### ① 授業研究 8月31日

第5学年 国語科 言葉をよりすぐって俳句を作ろう  
「日常を十七音で」

#### ② ICTを活用した指導の工夫

本授業は部会テーマ「情報活用能力を高める研究」を目指し、「情報機器の活用…授業に効果的な情報機器の利用とその活用方法」に主眼を置いて授業実践を行った。本授業では、edutabを用いることで、作品の中の季語から自身が抱いたイメージを一斉にモニター等に表示し、児童の思考を可視化することで多様な感性に触れられる機会を設定した。また、その機能を用いて、互いの作品を推敲し合う足場、評価し合う足場を設定した。

#### ICT活用の目的

- ・季語の豊かさや、児童一人ひとりが抱いた季語がもっているイメージを感じ取らせる。
- ・季語が効果的に使われているか、リズムはよいかなど推敲したり、俳句からどんな情景や心情が伝わってくるかを交流させたりする。

#### ICTを活用するメリット

- (全体) 興味関心を高める
- (見通す) 提示→学習内容・めあての明確化・共有
- ◎ (活動・観察) 記録する→可視化、グループなどの中での意見交換

◎（まとめる）再現する→思考の手助け，思考の再構築

③検証方法

ア 教科書・タブレット端末への書き込み（内容，思考力の高まりを表す語句）

イ 教師の見取り，感覚（児童の活動の様子，視点，発言）

ウ 成果物の検証・分析

エ 児童の振り返り，感想

【授業づくりの視点】

○協働学習の視点

○言語活動の充実 →思考力の向上

○タブレット端末の活用←同期型 CSCL による記載内容の可視化・・・会話の足場に

## II 成果と課題

### 1 成果

タブレットの授業内での活用方法について研究授業を行ったことで，具体的に学ぶことができた。とくに edutab を併用した授業では新しい授業展開の試み的なものを感じた。児童が ICT を活用することで話し合い活動，まとめる力，発表の力等人間味のある活動が活発になったと思う。

情報機器がメインではなく，教育活動の中で有効的な ICT の使用（活用）を検証することができた。今年から付記したモラル教育についても授業を行ったのでそこについても学習を深めることができた。

学習会の中でも教育現場で役に立つアプリの紹介ができ，有意義であった。

### 2 課題

情報機器については，各校によって整備状況が異なり，タブレットが導入されていない学校では，実践できないのが残念である。研究授業で行った内容を，他の情報機器で，どんな方法でできるか，例示できるといいと思う。

情報モラルについての授業実践を行うことができたが，理論研究を行えなかったのが，外部講師等を招き，学習会を開いてさらに研究を深めていければと思う。

中学の教員が 1 名でだけだったが，より多くの中学校教員の参加をしてもらいたい。小学校で ICT 機器を使った授業を体験したのにも関わらず，中学校でその知識，体験を活用できないのは非常にもったいないと思う。

## III 研究の成果物

第 5 学年 国語科 学習指導案 単元名「日常を十七音で」

第 6 学年 道徳 学習指導案 教材名「温かい言葉」

（部長 荒井 祐貴）